

～京都橋大学における地域連携の実績～

2006年	4月	知的障害者とのコラボ・めくるめく紙芝居プロジェクト「MEKメック」発足。(文化政策学部・小暮宣雄教授)
2006年	4月	文化政策学部ゼミ生が、『改訂版！山科駅周辺商店街マップ』制作スタート。【現代GP】
2006年	4月	学術教育交流協定提携により自治体職員の大学院受入がはじまる。
2006年	4月	LLP(有限責任事業組合)ビジネスサポート京都の産学連携オフィスを学内に開設。
2006年	6月	「第2回こどもの文化フォーラム」企画・実行に参画。
2006年	6月	(財)京都市女性協会と包括協定を締結。
2006年	6月	京都橋大学学生自治会と京都子ども守り隊～守るんジャー～の隊員たちが、自ら点検した大宅地区の安全マップを作成。
2006年	7月	福井県小浜市と、学術・教育交流協定を締結。
2006年	7月	文化政策学部ゼミ生によるタウン誌『やましな遊～ing 夏きらら号』(編集・発行京都橋大学)を発行。【現代GP】
2006年	7月	清水焼団地の要請により、文化政策学部の学生が「第32回陶器まつり」イベントに参画。委託販売・橋ショップの開店。
2006年	9月	教職希望の学生が、東京都八王子市立橋原中学校からの修学旅行生を対象に、京都の文化などをテーマに模擬授業。
2006年	9月	文化政策学部ゼミ生によるタウン誌『やましな遊～ing 秋だんらん号』が完成し話題となる。【現代GP】
2006年	9月	地域団体が共同で開催するイベント「ぐるっとふれ愛まちフェスタ in 山科」で、文化政策学部の学生が、データ化した山科の写真を展示。【現代GP】
2006年	10月	文化政策学部学生、「京都・山科 清水焼団地第7回楽陶祭」実行委員会へ参画。
2006年	10月	看護学部教員と学生有志による「たちばな健康相談・健康教室」を開催。
2006年	10月	文化政策研究センター主催「第6回個性が輝くひと・まち・文化」コンテスト開催。(最終回)【現代GP】
2006年	11月	第2回現代GPシンポジウム「まち中再生フォーラム 人を活かせばまちは甦る」開催。商店会の店舗に分科会会場をつくる。【現代GP】
2006年	11月	文化政策学部学生、山科三条商店会主催「三条街道わくわくフェスティバル2006」への参画。
2006年	12月	榎大広と、教育提携と学術交流に関する覚書を締結し、「広告とマスメディア」を開講。
2006年	12月	「陶灯路(とうとうろ)プロジェクトー清水焼作品企画・楽陶祭」への学生参画はじまる。【現代GP】
2007年	1月	京都産学公連携機構「分理融合・文系産学連携促進事業」に採択。臨床教育支援システム研究会を開催。
2007年	2月	第3回現代GPシンポジウム「大学発臨地まちづくりの実践～地域で学び地域が活きる」を開催。【現代GP】
2007年	3月	本学学生有志による、京都子ども守り隊～守るんジャー～が、京都市教育委員会から表彰される。
2007年	3月	『写真集モノクロームヤマシナ 資料編』(山科区発行)を企画制作。(文化政策学部・木下達文助教授)
2007年	3月	滋賀県東近江市と、文化政策関連事業推進に係る協力を締結。